かけて所在を探し自暴自棄的態度に出でんとして空氣險惡化したので、四日夜に至り前記松本治一郎並に松浦初の兩氏が再び調停に乗り出して炭坑側の承諾を求めて解決を慫慂したる結果、坑長並に本社出張員等協議の上解決案を作成して之を調停者に手渡したので茲に爭議團と調停者とが會見最後の接衝をなすことになつたのである。

十一、解決狀況

九月五日午後六時より七日に至る三日間に亘りて十數回の接衝を重ね辛じて解決したのであるが今其の狀況を述ぶれば次の通である。

炭坑側の解決試案

a案

一、全員解雇（事業中止）

二、爭議團員中四十五名に對しては左の手當を支給す